

松崎淳子さんエッセー刊行

「まっことめでたい96歳」



花束を受け取り「みなさんのおかげ」と出版を喜んだ松崎淳子さん(高知市の市立自由民権記念館)

高知市で祝う会

高知県立大学名誉教授の松崎淳子さん(96)は、高知市九反田のエッセー集「まっことめでたい96歳」の出版記念会が4日、同市棧橋通4丁目の市立自由民権記念館で開かれ、松崎さんは「昭和の初め

の景色などをびっちら書いた。(出版は)ものすごくうれしい」と笑顔で喜んだ。「まっことめでたい」は、松崎さんが大昭和の思い出や食文化研究、男女平等推進な

どの活動の軌跡をまとめたもの。たまたまノートを読んだ後輩や教え子らが「多くの人に読んでほしい」と2月に「出版する会」を立ち上げ、編集や資金集めに奔走してきた。クラウドファンディング

では目標額120万円を超える178万円が集まるなど反響が大きく、予定を2日早めてこの日から県内主要書店で発売した。

同会の北原初枝会長が「昭和、平成、令和を生きてきた先生には、次の世代に伝えたいことが山ほどある。思いが後世につながってほしい」とあいさつ。松崎さんは「自分が亡くなったら子どもが見るろう」と書いてきた文章が本になった驚きをユーモアを交えて語り、「若い方たちが全部(作業を)やってくれた。感謝、感謝、感謝です」と後輩らをねぎらった。

関係者や家族ら約30人が出席。本は同市立学校全62校に寄贈された。飛鳥刊、1500円。

(松田さやか)